

「サン・カルロス障害者作業学習用教室建設計画」署名式



(左から)パッセリ副会長と西林総領事



署名式の参加者

2007年12月18日、当館において、サン・カルロス APAE に対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式をミルドレッド・ドミンガス・バチストン・パッセリ副会長と当館西林万寿夫総領事の間で行いました。式典には同団体のパッセリ副会長他7名の関係者が出席しました。

署名後、西林総領事は当館管内の草の根無償等の実績を紹介しつつ、「貴団体では、現在利用している教室が手狭であり、車椅子利用者が作業学習に参加できない等の問題を抱えているとの報告を受けている。この度の我が国の無償資金協力により、貴団体が作業学習用教室を建設し、生徒に適切な学習の場が与えられることを期待する。」旨挨拶を述べました。

パッセリ副会長からは、「日本政府の協力のおかげで生徒達は適切な環境で職業訓練が可能になる。本建設が皆様に満足頂けるものになることを希望し、生徒達に代わって感謝する。」旨謝意を述べました。

案件名：サン・カルロス障害者作業学習用教室建設計画
被供与団体：サン・カルロス障害者を支える親と友の会（APAE）
プロジェクト実施地：サンパウロ州サン・カルロス市

契約署名日：2007年12月18日

供与限度額：86,005米ドル

案件概要：サン・カルロス APAE は50年以上にわたり活動しており、現在、約500人の知的障害者に対し教育・医療サービスを提供しています。現在利用している教室が手狭であり、車椅子利用者が作業学習に参加できない、室内の窓が小さいため空気循環が悪く健康への影響が懸念されるといった問題を抱えています。

供与品目：4 教室（265 平米）



現在、元自動車修理工場等を利用し
作業学習を実施している。